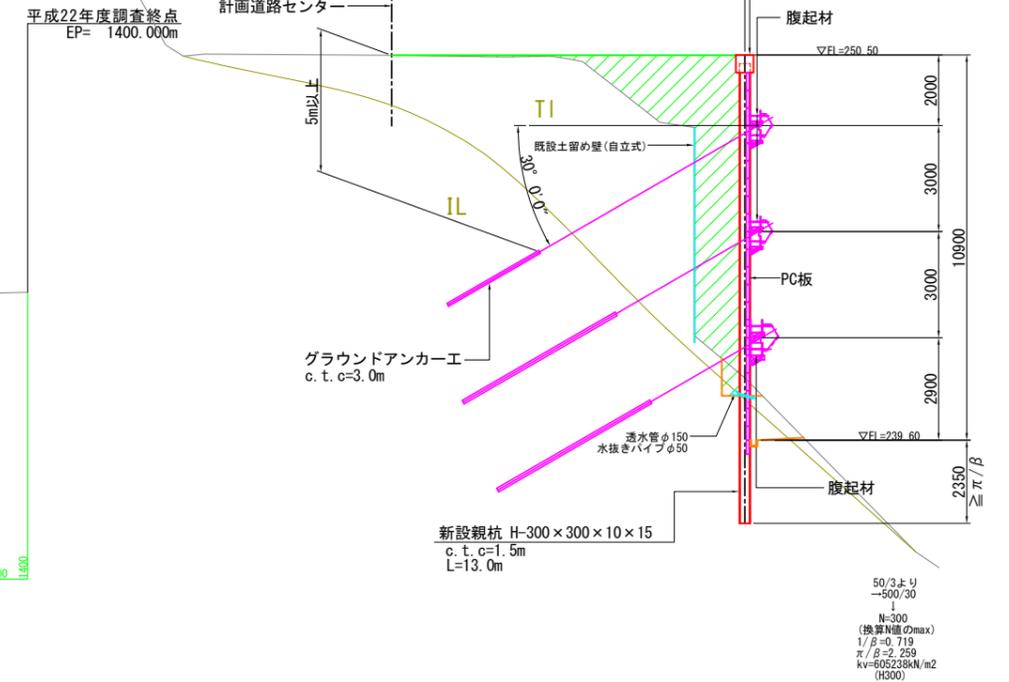
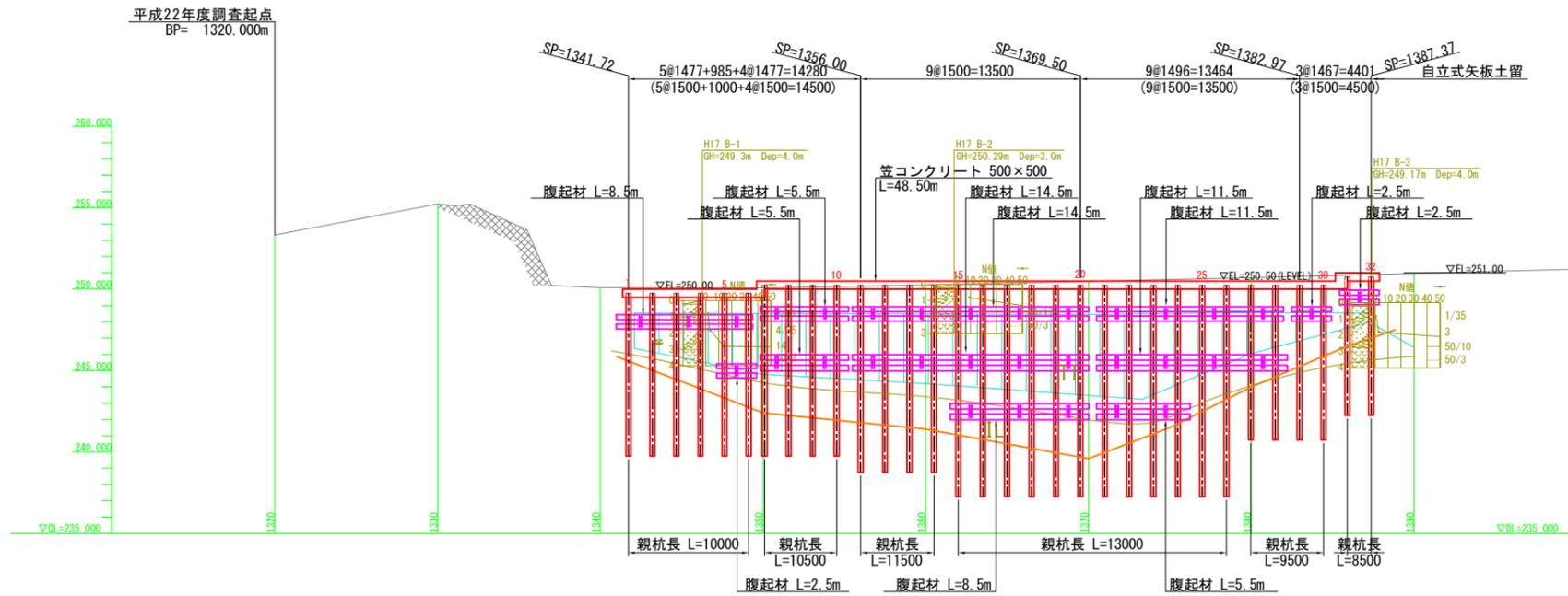


凡例			
時代	地層名	記号	記事
第四紀	沖積世	T1	礫混り火山灰質土砂からなる
	洪積世	IL	硬質な安山岩主体 換算N値270程度

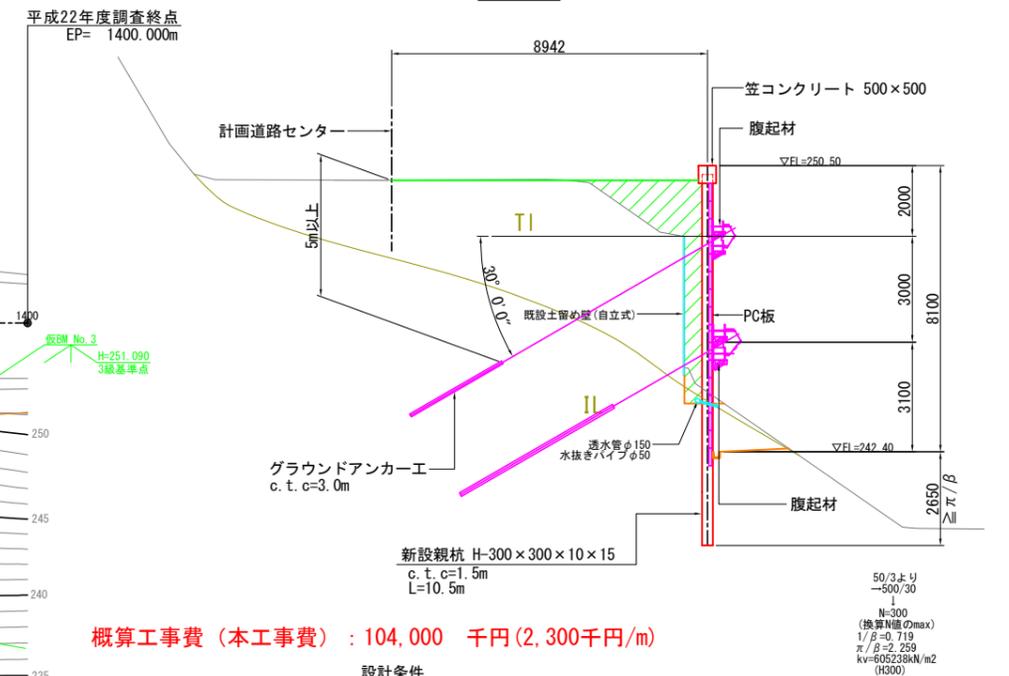
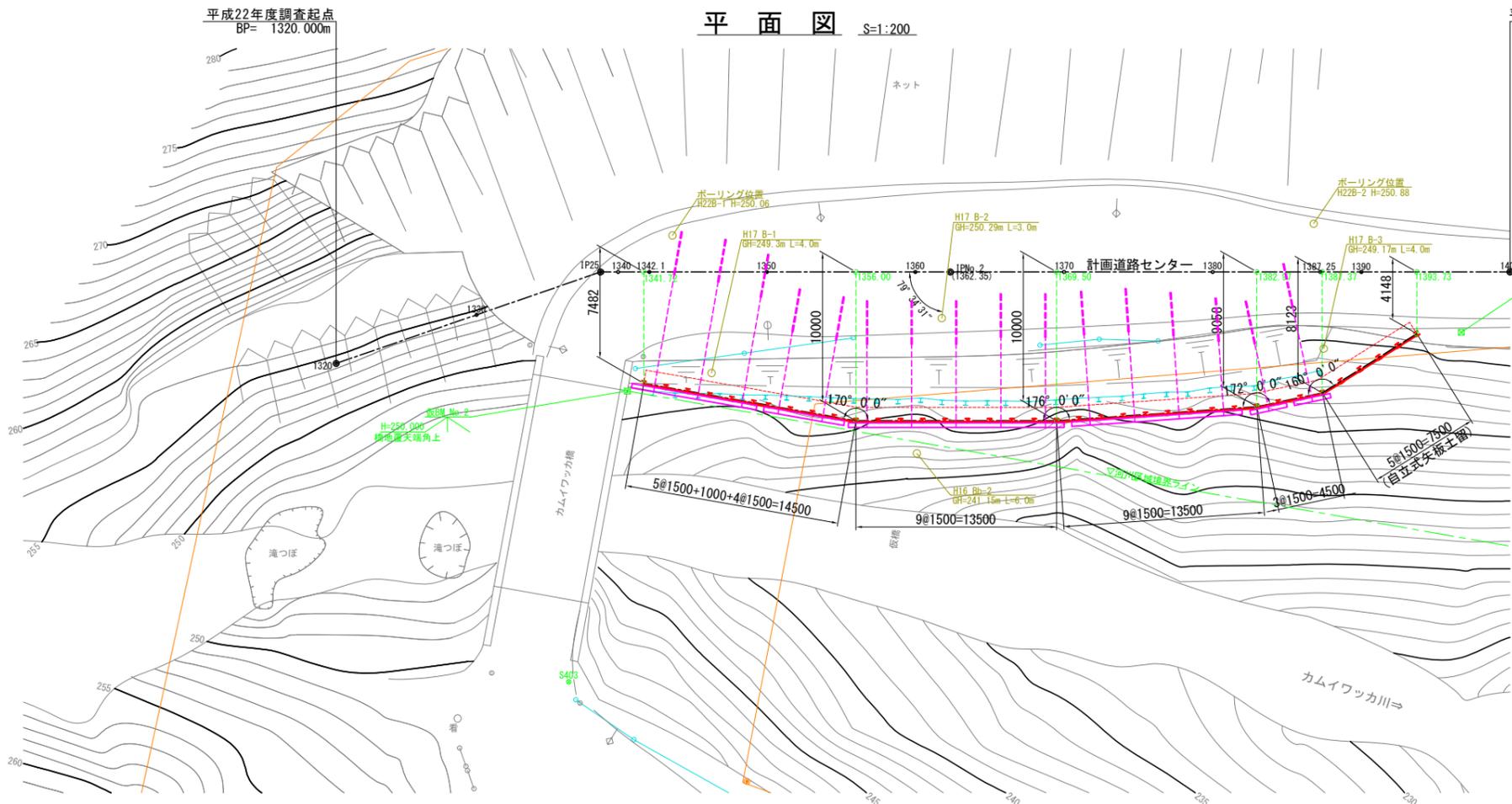
アンカー付山留式擁壁工一般図 (現況復旧・天端嵩上案)

標準断面図 S=1:100

側面図 S=1:200



平面図 S=1:200



概算工事費 (本工事費) : 104,000 千円 (2,300千円/m)

設計条件

擁壁構造形式	アンカー付山留め式擁壁
基本条件	土留め壁中心間隔1.50m、最小掘入れ: π/β 及び1.50m(仮設親杭専用)
地表面の上載荷重	$q=10\text{kN/m}^2$
土留め壁の許容応力度(地震時1.5倍)	曲げ: $\sigma_{sa}=140\text{N/mm}^2$ 、せん断: $\tau_a=80\text{N/mm}^2$
アンカー鋼材の許容引張力(内地震時)	極限状態: 0.60Tus(0.80Tus)、降伏状態: 0.75Tys(0.90Tys)
グラウトの許容付着応力度	$\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 、 $\tau_a=0.8\text{N/mm}^2$
アンカーの定着層極限せん断強度	1000kN/m ² (軟岩)
アンカーの極限引張力に対する安全率	$f_s=2.5$
盛土材料	$\gamma=19\text{N/m}^3$ 、 $\phi=30^\circ$
置換厚	90cm(斜里町、知床公園内)
積雪荷重	$q=6.3\text{kN/m}^2$ (積雪深1.8m×3.5kN/m ³)

工事名	知床公園(地特125) 交安工事 (構造物設計) その2
図面名	アンカー付山留め式擁壁工一般図 (現況復旧・天端嵩上案)
作成年月日	
縮尺	図示 図面番号
会社名	北海道土木設計株式会社
事業者名	北海道網走建設管理部